

平成 29 年度保護林モニタリング調査結果について

関東森林管理局管内には、現在、156 箇所の保護林が所在しており、今年度保護林モニタリング現地調査を 40 箇所、保護林モニタリング基礎調査を 23 箇所で、それぞれ行った（別紙 1）。

現地調査を行った保護林については、前回の平成 24 年度現地調査の結果と比較して大きな変化があった保護林が 7 箇所あった（別紙 1 の現地調査のオレンジ部分及び資料 1 - 2）。

昨年度の基礎調査の結果から、調査の変更・追加をした保護林が 6 箇所あった（別紙 1 の現地調査の薄黄色部分及び資料 1 - 3）。

残りの 27 箇所について、保護林全体として良好な状態が維持されていると整理した（別紙 1 の現地調査の白色部分及び資料 1 - 4）。

基礎調査を行った保護林については、プロット位置等を検討する保護林が 9 箇所ある（別紙 1 の基礎調査の薄黄色部分及び資料 1 - 5）。

残りの 14 箇所については、来年度のモニタリング調査において、現状の調査プロットは継続して利用することとする（別紙 1 の基礎調査の白色部分及び資料 1 - 6）。

別紙1

平成29年度保護林モニタリング調査を行った保護林

	新保護林名	旧保護林名	調査結果等	
1	現地調査 小川ブナ希少個体群保護林	定波シラカバ植物群落保護林	シラカンバの枯損が進行している。保護林内にシラカンバの小群落を確認。	H30小川ブナ希少個体群保護林に統合見込み
2	現地調査 竜頭の滝カラマツ遺伝資源希少個体群保護林	竜頭の滝カラマツ林木遺伝資源保存林	保護林外の林分は天然林状になったカラマツ人工林と考えられる。	
3	現地調査 高原山イラモミ希少個体群保護林	高原山天然イラモミ植物群落保護林	シカ被害の拡大が伺える。前回調査と比較して、優占種であるオクヤマザサの被度・群度が4・4から3・3に低下している。	
4	現地調査 茶ノ木平ウラジロモミ希少個体群保護林	茶ノ木平ウラジロモミ植物群落保護林	ウラジロモミの樹皮剥ぎ木の増加が見られる。	
5	現地調査 奥鬼怒生物群集保護林	奥鬼怒植物群落保護林	シカによる被害が増加した。	
6	現地調査 川上ツガ・ハリモミ希少個体群保護林	川上の冷温帯性植物群落保護林	前回調査時には林床に繁茂していたスズタケの一斉枯損が認められる。	
7	現地調査 瀬尻ホソバシャクナゲ希少個体群保護林	オツボギのホソバシャクナゲ植物群落保護林	管理伐採を実施したため日照条件が改善されている。	H30拡充見込み
8	現地調査 西金砂スタジイ希少個体群保護林	西金砂常緑広葉樹植物群落保護林	保護林内のスタジイは群生ではなく散生している状況にあることを確認。調査プロットを継続した。	
9	現地調査 板木リンボク・カゴノキ希少個体群保護林	板木暖帯性植物群落保護林	既設プロットをカゴノキの生育が認められた箇所に移設した。保護林内にカゴノキ、リンボクの生育は少ない。	
10	現地調査 唐沢コメツガ希少個体群保護林	唐沢ヤシオツツジ植物群落保護林	調査プロットをシロヤシオの生育密度が高い地点に移設した。	
11	現地調査 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林	千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ植物群落保護林	保護林内にあるシカ侵入防止柵内のミズナラ群落に新規に調査プロットを設定した。	H30千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林に統合見込み
12	現地調査 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	シラビソ群落の確認のための踏査を行ったが、今回の踏査範囲には確認できなかった。	H30南アルプス南部光岳森林生態系保護地域に統合見込み
13	現地調査 本坂峠ヤブツバキ希少個体群保護林	本坂峠のヤブツバキ植物群落保護林	調査プロットをヤブツバキが群生する林相へ移設した。	H30拡充見込み
14	現地調査 小川ブナ希少個体群保護林	小川ブナ群落林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30小川ブナ希少個体群保護林に統合見込み
15	現地調査 小川ブナ希少個体群保護林	小川ブナ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30小川ブナ希少個体群保護林に統合見込み
16	現地調査 和尚山ブナ希少個体群保護林	和尚山温帯性植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
17	現地調査 猿ヶ城アズマシャクナゲ希少個体群保護林	猿ヶ城シャクナゲ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
18	現地調査 八溝山ツガ・ダケカンバ希少個体群保護林	八溝山冷温帯性植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
19	現地調査 花瓶山ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	花瓶山冷温帯性植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
20	現地調査 黒沢ウラジロモミ・クロベ遺伝資源希少個体群保護林	黒沢ウラジロモミ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
21	現地調査 刈込湖コメツガ遺伝資源希少個体群保護林	切込・刈込湖コメツガ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
22	現地調査 湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	湯滝ミズナラ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
23	現地調査 裏見の滝コナラ遺伝資源希少個体群保護林	裏見の滝コナラ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
24	現地調査 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林	千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林に統合見込み
25	現地調査 西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林	西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林に統合見込み
26	現地調査 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林	西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林に統合見込み
27	現地調査 原付ヒノキ希少個体群保護林	原付天然ヒノキ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
28	現地調査 大真名子コメツガ希少個体群保護林	大真名子コメツガ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
29	現地調査 光徳ミズナラ希少個体群保護林	光徳ミズナラ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
30	現地調査 光徳ハルニレ希少個体群保護林	光徳ハルニレ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30拡充見込み
31	現地調査 戦場ヶ原湿原希少個体群保護林	戦場ヶ原湿原植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
32	現地調査 小田代湿原希少個体群保護林	小田代湿原植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
33	現地調査 西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林	西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林に統合見込み
34	現地調査 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	白倉林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30南アルプス南部光岳森林生態系保護地域に統合見込み
35	現地調査 コガネ沢ブナ・イヌブナ遺伝資源希少個体群保護林	コガネ沢林木遺伝資源保存林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
36	現地調査 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	中ノ尾根山の森林植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30南アルプス南部光岳森林生態系保護地域に統合見込み
37	現地調査 岩岳山アカヤシオ・シロヤシオ希少個体群保護林	岩岳山のアカヤシオ・シロヤシオ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
38	現地調査 京丸山キョウマルシャクナゲ希少個体群保護林	京丸山のシロヤシオ・キョウマルシャクナゲ植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	
39	現地調査 観音山スギ・シブカワツツジ希少個体群保護林	観音山の森林植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	H30拡充見込み
40	現地調査 諏訪森希少個体群保護林	諏訪森植物群落保護林	大きな変化はなく、良好な状態が維持されていると考えられる。	

	新保護林名	旧保護林名	調査結果等	
1	基礎調査 甲子・二岐山周辺生物群集保護林	二岐山ミズメ林木遺伝資源保存林	甲子・二岐山周辺冷温帯ブナ植物群落保護林と統合を行うため、調査プロットの検討を行う。	
2	基礎調査 甲子・二岐山周辺生物群集保護林	甲子・二岐山周辺冷温帯ブナ植物群落保護林	来年度が初めての現地調査であり、二岐山ミズメ林木遺伝資源保存林区域のプロットと併せて設定等の変更が必要。	
3	基礎調査 八幡岳周辺ブナ・ミズナラ希少個体群保護林	八幡岳周辺冷温帯ブナ・ミズナラ植物群落保護林	来年度が初めての現地調査となる保護林のため、調査プロットを新規に設定する必要がある。	
4	基礎調査 越後山脈生物群集保護林	越後山脈森林生物遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、自然低木群落への調査プロット追加を検討する。	
5	基礎調査 増沢モミ希少個体群保護林	増沢モミ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、拡充区域への調査プロットの追加を検討する。	H30拡充見込み
6	基礎調査 滝サワラ希少個体群保護林	滝天然サワラ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、拡充区域への調査プロットの追加を検討する。	H30拡充見込み
7	基礎調査 南房総モミ希少個体群保護林	南房総暖温帯性植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、拡充区域への調査プロットの追加を検討する。	H30拡充見込み
8	基礎調査 赤谷山スギ遺伝資源希少個体群保護林	赤谷山天スギ林木遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、拡充区域への調査プロットの追加を検討する。	H30拡充見込み
9	基礎調査 白山ケヤキ遺伝資源希少個体群保護林	白山ケヤキ林木遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続し、加えて、拡充区域への調査プロットの追加を検討する。	H30拡充見込み
10	基礎調査 吾妻山周辺森林生態系保護地域	吾妻山周辺森林生態系保護地域	既設プロットでの調査の継続。	
11	基礎調査 日山ミズナラ希少個体群保護林	日山ミズナラ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
12	基礎調査 深沢ヒノキアスナロ希少個体群保護林	深沢ヒノキアスナロ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
13	基礎調査 上野檜原シオジ等生物群集保護林	上野檜原のシオジ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
14	基礎調査 天丸山ヒノキ・ハコネコマツツジ希少個体群保護林	天丸山天然ヒノキ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
15	基礎調査 元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林	元清澄山林木遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続。	
16	基礎調査 朝日山地森林生態系保護地域	朝日山地森林生態系保護地域	既設プロットでの調査の継続。	
17	基礎調査 飯豊山周辺森林生態系保護地域	飯豊山周辺森林生態系保護地域	既設プロットでの調査の継続。	
18	基礎調査 俎倉山スギ希少個体群保護林	赤谷天スギ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
19	基礎調査 目指岳コウヤマキ遺伝資源希少個体群保護林	目指岳コウヤマキ林木遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続。	
20	基礎調査 大久蔵トチノキ遺伝資源希少個体群保護林	大久蔵トチノキ林木遺伝資源保存林	既設プロットでの調査の継続。	
21	基礎調査 猿ヶ城岩オオフジシダ希少個体群保護林	猿ヶ城岩オオフジシダ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
22	基礎調査 上佐野スギ・ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	上佐野植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	
23	基礎調査 安倍峠オオイトヤマメイツ希少個体群保護林	安倍峠オオイトヤマメイツ植物群落保護林	既設プロットでの調査の継続。	